

「Zairyo-to-Kankyo (材料と環境)」投稿の手引き

「Zairyo-to-Kankyo (材料と環境)」への投稿は、次の要件を満たさなければならない。

- (1) 日本語または英語であり、未掲載および他のジャーナルに投稿中でないこと、かつオリジナリティがあること(腐食防食学会「投稿規程」に定める範囲において、重複を認める場合がある)。
- (2) 材料の腐食防食に関連する学術および科学技術の発展に寄与するものであること。
- (3) 投稿規程に合致するものであること。
- (4) 別に定める「原稿の書き方」に準拠して作成された原稿であること。
- (5) 論文等の著作権を本会に帰属することに同意すること。
- (6) 研究不正行為および研究不適切行為をしないこと、ならびに研究不正行為をした場合は本会の定めるところにより処分を、研究不適切行為をした場合は本会の定めるところにより措置を受けることに同意すること(腐食防食学会「研究活動における不正行為等への対応に関する規程」を参照のこと)。

1. 「Zairyo-to-Kankyo (材料と環境)」に投稿可能な論文

投稿可能な原稿は以下の通り。各原稿の詳細については、「投稿規程」を参照のこと。

- (1) 研究論文 (Research Paper)
- (2) 総合論文 (Comprehensive Paper)
- (3) 速報論文 (Rapid Communication)
- (4) 講演大会論文 (Conference Publication)
- (5) 技術資料 (Technical Report)
- (6) 解説 (Review)
- (6) 寄書 (Letter to the Editor)
- (7) 未来戦略技術と製品 (Strategic Technology and Products for the Future)
- (8) その他

2. Materials Transactions 掲載論文の「Zairyo-to-Kankyo(材料と環境)」への投稿

「Zairyo-to-Kankyo(材料と環境)」への掲載日が、「Materials Transactions」のweb公開日から起算して2年以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、和訳した論文等を本誌に投稿できる。そのことを脚注に明記する。ただし審査の結果、却下される場合もある。

3. 研究不正行為および研究不適切行為の禁止

投稿者は、本会の「倫理規程」を順守するとともに、「研究活動における不正行為への対

応等に関する規程（以下、不正行為対応規程という）」に定める不正行為をしてはならない。不正行為を行ったと認定された者は、当該規程に従った処分を受ける。

多重投稿の定義は不正行為対応規程に定める通り、実質的に同一とみなせる論文を、本誌を含めて 2 つ以上の審査機関または出版社に投稿する事であり、会誌および本会全体の権威を傷つけ信頼性を損なうことから、これを厳に禁止する。多重投稿の判定は編集委員会によってなされる。

1.に定める「研究論文」、「総合論文」、「速報論文」、「技術資料」および「解説」を、本誌に掲載後、2 年以内に共同刊行誌 "Materials Transactions" へ投稿する場合は、多重投稿とはみなさない。ただし、英文にて本紙に掲載されたものは二重投稿にあたるため、共同刊行誌 "Materials Transactions" に投稿できない。

4. 著作権規程

本誌に掲載される原稿等の著作権は、本会「刊行事業著作権規程」に準じ、原則として本会に属する。

著作権に関する詳細は、「刊行事業著作権規程」を参照。

5. 投稿方法とその後のプロセス

5.1 投稿手順

(1) 投稿方法

「Zairyo-to-Kankyo (材料と環境)」への投稿は、

<https://mc.manuscriptcentral.com/jcorr>

にて、原稿を提出する。操作方法については、当該 web ページの簡易マニュアルを参照すること。

提出ファイル

- ① 本文 Microsoft Word ファイル
- ② 図表 Microsoft Word,
Adobe Illustrator (CS~CS3 は、10 形式での保存が望ましい),
PDF (画像のダウンサンプル設定や圧縮は不可, 全てのフォントを埋め込む),
JPEG (低圧縮, 高解像度),
TIFF,
- ③ 転載許諾書
- ④ 和文アブストラクト, 和文キーワード Microsoft Word ファイル

5.2 原稿の受付日および受理日

- 1) 原稿が投稿・審査オンラインを通して投稿され、原稿に ID が付与された日を受付日とする。ただし、投稿規程に合致しない原稿は受け付けない。
- 2) 原稿の受理日は掲載可と判定された日とする。

5.3 審査

原稿は編集委員会の審査を経て、「Zairyo-to-Kankyo (材料と環境)」に掲載される。従って、審査の結果、編集委員会から投稿者に修正、加筆、削除、原稿の種類の変更等を求めることがある。修正を求められた論文で定められた期間を過ぎての提出は認められない。期限の延長を希望する場合には、理由と共に申請を行うこと。

また、期限内に再提出された原稿でも、修正の程度や内容によっては、編集委員会から、追加で変更を求められることがある。

5.3.1 原稿修正期間

研究論文，総合論文，講演大会論文，技術資料，解説， 未来戦略技術と製品	30 日 (大幅な修正の場合は 60 日)
寄書，速報論文	15 日

5.4 審査結果の通知

(1) 掲載受理通知

編集委員会が論文等の掲載を決定した時は、その旨を著者に通知する。

(2) 掲載不可通知

編集委員会が掲載不相当と決定した論文等は、その理由を付して著者へ通知する。

5.5 掲載原稿の提出

論文等の掲載が受理された段階で、図表以外の原稿（本文、英文・和文要旨、英文・和文キーワードおよび図表説明一覧）の電子ファイル（Microsoft Word ファイル）を事務局へ提出する。

図表については、Microsoft Word, Adobe Illustrator (CS～CS3 は、10 形式での保存が望ましい)、PDF (画像ダウンサンプル及びおよび圧縮なし、全てのフォントを埋め込む)、JPEG (低圧縮、高解像度)、TIFF、のいずれかで提出する。

5.6 ページの目安

投稿原稿の種類	刷り上がりページ数 (表題,図表を含む)
研究論文および総合論文	10 ページ以内
速報論文	4 ページ以内
講演大会論文	4 ページ以内
技術資料, 寄書	4 ページ以内
解説	10 ページ以内
未来戦略技術と製品	4 ページ以内

- 1 ページの目安は、和文の場合は刷り上りページ当たり 1 行 25 字×112 行、
英文の場合は同ページ当たり 1,000 語である。
図表は 1 ページ当たり 6 図表である。

5.7 カラー掲載

図（写真を含む）および表のカラー掲載にかかる実費は著者の負担とする。

5.8 著者校正

- (1) 著者校正は原則として 1 回とし、著者の責任で行う。
- (2) 原則として誤植の校正に限る。ただし、明らかな誤りでやむを得ず修正する場合はこれを認めることがある。
- (3) 訂正は、ゲラ刷りに赤色で行い、周囲の余白に大きく引き出して訂正文を明瞭に記入する。著者校正の際、提出原稿は返却されないので、原稿の控えを必ず手もとにとっておくこと。

6. 投稿者負担金

- (1) 投稿者は投稿・掲載費用を負担する(投稿者には刷上頁の PDF ファイルを寄贈する)。
- (2) 非会員で、編集委員、査読者から推薦があった投稿論文は会員価格を適用する場合がある。
- (3) 「速報論文」および「未来戦略技術」と製品については、下記料金の 1.5 倍となる。
- (4) カラー図表掲載を希望する場合は実費を負担する。
刷り上がり 1 頁 50,000 円 (税抜), 2 頁以上 80,000 円 (税抜)
- (5) 別刷購入希望の場合は、別途費用を負担する。

「Zairyo-to-Kankyo(材料と環境)」投稿掲載費用 (税込)

	会員	非会員
2 頁以内	22,000 円	27,000 円
3 頁	27,500 円	32,500 円
4 頁	38,500 円	43,500 円
5 頁	49,500 円	54,500 円
6 頁	66,000 円	76,000 円
7 頁	82,500 円	92,500 円
8 頁	93,500 円	103,500 円
9 頁	104,500 円	114,500 円
10 頁	110,000 円	120,000 円

別刷り料金表 (税込)

1 セット (50 部)	会員	非会員
4 頁以内	8,800 円	14,300 円
5 頁	9,900 円	15,400 円
6 頁	11,000 円	16,500 円
7 頁	12,100 円	17,600 円
8 頁	13,200 円	18,700 円
9 頁	14,300 円	19,800 円
10 頁	15,400 円	20,900 円

注 1) 上記料金は「論文、講演大会論文、技術資料、総合論文」の価格。
すべて表紙付き。表紙をつけないことも可能ですが、料金は同じです。

7. 原稿の取り下げ

- (1) 原稿を取り下げる際は、著者が電子メールまたは文書で事務局まで申し出る。
- (2) 組版終了後、著者都合により原稿を取り下げる場合は、著者が組版代を負担する。

8. 公開後の論文訂正

- (1) 公開後の論文訂正は、著者の申し出により **Erratum** として訂正記事を掲載することができる。
- (2) 著者の都合による論文訂正は、1 記事あたり 2 万円 (税抜) の掲載料を著者が負担する。

Zairyo to Kankyo (材料と環境) への投稿から掲載までのプロセス

